## 資料5

福島大学•福島県立医科大学 ＜お問い合わせ先＞ －取材東京シンポジウム

総務課広報担当 福田
－11月7日（土）～8日（日）
$\rightarrow$ TEL：080－1855－9020
上記以外 $\rightarrow$ TEL：024－548－5190
－シンポジウム内容
うつくしまふくしま
未来支援センター 仲井


上記以外 $\rightarrow$ TEL：024－504－2835

## 一福島の復興と地方創生

## 旦時 2015年 <br> 118

## 媟奈制人数 450名

事前申し込みが必要です。参加ご希望の方は裏面の参加申込書にて10月20日かまでにお申し込み下さい。
（事前申込み制 定員になり次第，締め切ります）
参加対象者 一般市民，大学関係者，学生，行政職員，福島県から避難している方 他

プログラム
I 部 特別鼎談「未来を拓く開拓者たち～復と人づくり地域づくり～」小泉 進次郎氏／糸井 重里氏／開沼 博

II 部 福島の現状報告
II 部 パネルデイスカッション「福島の復興と地方創生」

■主 催：国立大学法人福島大学，公立大学法人福島県立医科大学 ■後援（予定）：文部科学省，復興庁，福島県，双葉地方町村会，公益社団法人経済同友会 他
■協 力：国立大学法人一橋大学，8伊藤園


小泉 進次郎氏


紼 重里氏
会 場 一橋大学
東京都干代田区ーツ橋 2－1－2 学術総合センター内


[^0]
## 福島大学•福島県立医科大学／東京シンポジウム

開催目的
福島で起きている災害弱者の孤立化，復興関連死等の問題は，今後，少子高齢化社会が激化する中で日本各地に出現する諸問題と共通性を持っています。これまで地方が内包してきた第一次産業の哀退や少子高㱖化等の問題は，今後，日本各地で激化する深刻な問題で すが，そうした諸問題が，福島では東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故を契機に急速に表面化しました。福島の地域復興の現状 を把握し復興を進めるとともに，その復贔過程で得られる経験（工夫•知恵）を，復興のみならず今後の地方復権•創生につなげ，「復興知•支援知」として活かし発信していくことは重要であります。そのために，私たちは大震災•原発事故から何を学び何から始めなければならない のか，市民•学生等，参加者にこの課題を提起し探究いたします。

ブログラム


|  |  |  |  |
| :--- | :--- | :--- | :--- |
| IIII |  |  |  |
| 16：00～ |  |  |  |
| 17：20 |  | パネル | ディスカッション |
|  |  |  |  |

## 「福島の復興と地方創生」

| ［モテレーター］ | 山川 充夫氏 | 帝京大学教授（福島大学名誉教授） |
| :---: | :---: | :---: |
| ［バネリスト］ | 清水 潔氏 | 明治大学特任教授•元文部科学事務次官 |
|  | 斎藤 喜章氏 | 特定非営利活動法人 ふくしま飛行協会理事長 |
|  | 高島 宏平氏 | オイシックス株式会社 代表取絃役社長 |
|  | 竹之下 誠一 | 福島県立医科大学復興担当理事 |
|  | 本多 環 | FUREこども・若者支援部門 特任教授 |


| 閉 | 17：20～ |  |
| :--- | :--- | :--- | :--- | :--- |
| 17：30 | 閉会挨拶 | 中田 スウラ FUREセンター長 |

## ほんとの空が戻る日まで 参加申込書

## 10』20घロロまで＝

FAXまたはe－mailでお申し込みください。

| 氏 名 |  |
| :--- | :--- |
| （代表者） |  |
|  |  |
|  |  |
| 連絡先（電話番号） |  |
| こちらからも参加申込ができます <br> nttp：／ws．formzunet／igen／s51615164 |  | mail fure＠adb．fukushima－u．ac．jp

勤務先•学校


[^0]:    －東京メトロ半蔵門線，都営三田線，都営新宿線「神保町駅」 （A9出口）徒歩4分
    ※A8出口は，近隣ビルの工事のため平成25年10月5日から閉鎖しております。お越しの際にはA9出口をご利用ください。 －東京メトロ東西線 1 竹橋駅」（1 b出口）徒歩4分

